

平成25年度 B3

3

前田さんの学級では、新美南吉（にみなんきち）が書いた「ごんぎつね」を読んだあと、その物語、あるいはそれに関連する本や文章を取り上げて下さいせん文を書くことにしました。次は、「花田さんが書いた下さいせん文」と「本間さんが書いた下さいせん文」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花田さんが書いた下さいせん文】

みなさんは、物語をくり返し読み返した経験がありますか。そのような読み方をしたことがない人に、新美南吉が書いた「ごんぎつね」をおすすめします。

この物語の最後の部分は、次のように書かれています。「兵十（ひょうじゅう）は、火なわ銃（じゆう）をばたりと、とり落としました。青いけむりが、まだ筒口（つつぐち）からほそく出ていました。」わたしは、この部分が気になり、物語の全体をくり返し読み、登場人物の心の変化をたどってみたいになりました。

「ごんぎつね」には、ごんと兵十が登場します。ごんが、兵十のうなぎを取ってしまうといういたずらが事件の起りです。ごんは、そのことを深く反省し、おわびにくりや松たけを兵十のうちに持っていくようになります。しかし兵十は、ごんがしたことだとは気づかず、最後に火なわ銃でごんをうってしまいます。兵十は、そこで初めてごんの行動に気づくのです。ごんと兵十の心のすれちがいにせつない気持ちになります。

わたしは、この物語がどのように続くのか想像しながら、最後の部分を何度も読み返しました。そのことで、青いけむりにこめられた意味を少し理解できたような気がします。物語の最後の部分に深い味わいがあるこの物語を、みなさんにもぜひ読んでほしいと思います。

【本間さんが書いた下さいせん文】

わたしは、「ごんぎつね」を読んで、作者の新美南吉に興味をもちました。そこで、図書館に出かけ、新美南吉の作品を集めた本をさがして読みました。その中で、主人公のものの見方や考え方に注目して読んだところ、「手ぶくろを買いに」と「おじいさんのランプ」が特に心に残りました。

「手ぶくろを買いに」は、「ごんぎつね」と同じようにぎつねが主人公の物語です。母さんぎつねは、子ぎつねに人間はこわいものだとか教えます。しかし子ぎつねは、町へ手ぶくろを買いに行ったとき、人間のやさしさや温かさにふれます。美しいものや人間のやさしさをすなおに感じる子ぎつねのすがたに心が温まります。

もう一つは、「おじいさんのランプ」です。この作品の主人公のおじいさんは、わかいころにランプ売りとして成功しますが、時代の流れの中で電気が使われるようになり、ランプ売りをやめる決意をします。そのいさぎよすがたがむねをうちます。

わたしは、同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出会うことができました。みなさんは、物語の作者に注目して本や文章を読んだことがありますか。そのような経験がない人には、まずは、読んだ本の中から好きな物語を選び、その物語の作者の作品を集めた本をさがして読むことをすすめます。きっと作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができるはずです。

※ 問題は、次のページに続きます。

一 前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、分かったことをノートにまとめました。  
 「ノート」の **ア** ・ **イ** ・ **ウ** の中に入るふさわしい内容を、本文中の言葉を使って書きましよう。

〔ノート〕

<p>どのような本や文章をすすめているか</p>	<p>○「ごんぎつね」</p>	<p>○作者の作品を集めた本          ・「手ぶくろを買いに」          ・「おじいさんのランプ」</p>
<p>どのような人にすすめているか</p>	<p>○物語をくり返し読んだ経験がない人</p>	<p>○          ア</p>
<p>すすめる理由</p>	<p>〈花田さんの読書経験から〉          ○物語の最後の部分が気になり、物語の全体をくり返し読み、登場人物の心の変化をたどってみたくなったから。</p> <p>○作品の持ちようの面から〉          ○物語の最後の部分に深い味わいがあるから。</p> <p>イ</p>	<p>〈本間さんの読書経験から〉          ○          ウ</p> <p>〈読むことを通した効果の面から〉          ○作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができるから。</p>

解答らん

<p>ア</p>	<p>イ</p>	<p>ウ</p>
----------	----------	----------

※ 問題は、次のページに続きます。

二 前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、二人の読み方にはちがいがあること  
気づきました。二人は、どのような読み方をしていますか。その説明として最もふさわしい  
ものを、次の**1**から**5**までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 同じ題材で、複数の作者が書いた作品を取り上げ、作者の考えを比べながら読んでいる。
- 2 一つの作品を取り上げ、自分の考えと作者の考えのちがいを明らかにしながら読んでいる。
- 3 同じ作者の複数の作品を取り上げ、登場する主人公に注目しながら読んでいる。
- 4 同じ主人公が登場する作品を取り上げ、そのおもしろさをまとめながら読んでいる。
- 5 一つの作品を取り上げ、注目した物語の最後の部分や全体を何度もくり返し読んでいる。

解答らん

花田さんが書いたすいせん文	
本間さんが書いたすいせん文	

平成25年度

B3

3

前田さんの学級では、新美南吉（にみなんきち）が書いた「ごんぎつね」を読んだあと、その物語、あるいはそれに関連する本や文章を取り上げて下さいせん文を書くことにしました。次は、「花田さんが書いた下さいせん文」と「本間さんが書いた下さいせん文」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【花田さんが書いた下さいせん文】

みなさんは、物語をくり返し読み返した経験がありますか。そのような読み方をしたことがない人に、新美南吉が書いた「ごんぎつね」をおすすめします。

この物語の最後の部分は、次のように書かれています。「兵十（ひょうじゅう）は、火なわ銃（じゆう）をばたりと、とり落としました。青いけむりが、まだ筒口（つつぐち）からほそく出ていました。」わたしは、この部分が気になり、物語の全体をくり返し読み、登場人物の心の変化をたどってみたいとなりました。

「ごんぎつね」には、ごんと兵十が登場します。ごんが、兵十のうなぎを取ってしまうといういたずらが事件の起りです。ごんは、そのことを深く反省し、おわびにくりや松たけを兵十のうちに持っていくようになります。しかし兵十は、ごんがしたこととは気づかず、最後に火なわ銃でごんをうってしまいます。兵十は、そこで初めてごんの行動に気づくのです。ごんと兵十の心のすれちがいにせつない気持ちになります。

わたしは、この物語がどのように続くのか想像しながら、最後の部分を何度も読み返しました。そのことで、青いけむりにこめられた意味を少し理解できたような気がします。物語の最後の部分に深い味わいがあるこの物語を、みなさんにもぜひ読んでほしいと思います。

【本間さんが書いた下さいせん文】

わたしは、「ごんぎつね」を読んで、作者の新美南吉に興味をもちました。そこで、図書館に出かけ、新美南吉の作品を集めた本をさがして読みました。その中で、主人公のものの見方や考え方に注目して読んだところ、「手ぶくろを買いに」と「おじいさんのランプ」が特に心に残りました。

「手ぶくろを買いに」は、「ごんぎつね」と同じようにぎつねが主人公の物語です。母さんぎつねは、子ぎつねに人間はこわいものだとかえします。しかし子ぎつねは、町へ手ぶくろを買に行ったとき、人間のやさしさや温かさにふれます。美しいものや人間のやさしさをすなおに感じる子ぎつねのすがたに心が温まります。

もう一つは、「おじいさんのランプ」です。この作品の主人公のおじいさんは、わかいころにランプ売りとして成功しますが、時代の流れの中で電気が使われるようになり、ランプ売りをやめる決意をします。そのいさぎよすがたがむねをうちます。

わたしは、同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出会うことができました。みなさんは、物語の作者に注目して本や文章を読んだことがありますか。そのような経験がない人には、まずは、読んだ本の中から好きな物語を選び、その物語の作者の作品を集めた本をさがして読むことをすすめます。きっと作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができるはずです。

※

問題は、次のページに続きます。

一 前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、分かったことをノートにまとめました。  
 「ノート」の **ア** ・ **イ** ・ **ウ** の中に入るふさわしい内容を、本文中の言葉をを使って書きましょう。

【ノート】

	【花田さんが書いたすいせん文】	【本間さんが書いたすいせん文】	
どのような本や文章をすすめているか	○「ごんぎつね」	○作者のた本 ・「手ぶく」 ・「おじい	
どのような人にすすめているか	○物語をくり返し読んだ経験 <small>くわいじん</small>		
すすめる理由	<b>イ</b> 〈花田さんの読書経験から〉 ○物語の最後の部分が気になり、物語の全体をくり返し読み、登場人物の心の変化をたどってみたくなったから。	<b>ウ</b> 〈本間さんの読書経験から〉 ○読むことを通した効果の面から ○作者自身のことについて知識を増やしたり、作品にこめられた意味を深く考えたりすることができるから。	<b>ア</b>

解答らん

イについて

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① 「この物語がどのように続くのか想像しながら、最後の部分を何度も読み返したこと」を取り上げている。
- ② 「青いけむりにこめられた意味を少し理解できたような気がすること」を取り上げている。

ア	イ	ウ
<b>例</b> 物語の作者に注目して本や文章を読んだ経験がない人	<b>例</b> この物語がどのように続くのか想像しながら、最後の部分を何度も読み返したことで、青いけむりにこめられた意味を少し理解できたような気がするから。	<b>例</b> 同じ作者の作品を読むことで、お気に入りの作品に出会うことができ たから。

※ 問題は、次のページに続きます。

二 前田さんは、二人のすいせん文を比べて読み、二人の読み方にはちがいがあること  
気づきました。二人は、どのような読み方をしていますか。その説明として最もふさわしい  
ものを、次の**1**から**5**までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 同じ題材で、複数の作者が書いた作品を取り上げ、作者の考えを比べながら読んでいる。
- 2 一つの作品を取り上げ、自分の考えと作者の考えのちがいを明らかにしながら読んでいる。
- 3 同じ作者の複数の作品を取り上げ、登場する主人公に注目しながら読んでいる。
- 4 同じ主人公が登場する作品を取り上げ、そのおもしろさをまとめながら読んでいる。
- 5 一つの作品を取り上げ、注目した物語の最後の部分や全体を何度もくり返し読んでいる。

解答らん

花田さんが書いたすいせん文	5
本間さんが書いたすいせん文	3